

第60回岡山市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日時：令和4年7月21日（木） 16時～16時30分
- 2 場所：本庁3階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

[市長]

これから第60回となる本部会議を開催する。

本日の岡山市の新規感染者数は973人。感染者数は、7月から急激に増加しており、過去最も多かった2月5日の827人よりも悪くなってしまった。

本日は、今後の対応について協議を行うため、みなさんに集まっていただいた。各局室の対応状況を報告願う。

(1) 新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況・療養状況

7月以降、感染者は急増している。先週の感染者に比べ、倍増している。今後も感染者の増加が見込まれる。PCR検査数についても増加しており、陽性率も40.2という数字が出ている。

・感染者の推移

本日の感染者は973人。週間平均の感染者は508.7人。第6波のピーク565.6に近づいてきており、今後、第6波を超えて感染が拡大することが想定される。

・発症日データ

発症日データでも、感染者の増加が見て取れる。通常、発症者は、週明け、月～水曜日に増加し、週後半は減少していたが、現在、金曜日まで増加しつづけており、発症日のデータからみても、感染拡大が続くことが見込まれる。

・感染者の療養状況

感染者の増加に伴い、療養者も増加している。軽症者が多いため、入院、宿泊療養となる方は少ないものの、自宅療養者が第6波のピーク時と同等程度で3000人を超える状況になっている。

今後、感染者の増加が続けば、入院、宿泊療養者も増加するものと危惧している。

・感染者の年代

7月以降、感染者数が前週に比べ、倍、倍となっている。年代の構成割合に大きな変化はなく、高齢者の割合は低く、20代以下の若者が、約半数を占めている。

・受診・相談センター

令和4年1月以降の受診・相談センターへの問い合わせ件数は、第6波のピーク時には、1日450件の問い合わせだったが、現在、問い合わせ件数は徐々に増えており、直近では300件を超えた。時間帯によって、かかりにくい時もあるが、現在のところ、概ねお待たせすることなく、対応できている。

[保健所長]

7月4日、11日の発病日の2日ないし3日前の金曜、土曜に感染が起きたと言える。そういった週末にかけての活動に関連して、患者の激増が起こっている。特にこの週初めの増加に関しては、20代から40代の方の増加が顕著である。

その方々から一部を抽出して、接種歴を台帳で確認したところ、20代では患者の45%が未接種、30代では35%が1回も予防接種をしていなかった。未接種の方は3回目接種済みに比べて、約3倍の発病リスクがあるということ。30代の方でも同様に約2倍の発病リスクがあるという状況なので、未接種の方はぜひ接種をしていただきたい。

[市長]

未接種の定義付けだが、3回接種の方以外を全て未接種というのか、1回も受けてない方のことなのか。

[保健所長]

1回も受けてない方のことである。

[市長]

それでは、1回も受けてない方が3回受けている方に比べて3倍の発症リスクがあるということか。

[保健所長]

そうである。

[感染症対策担当局長]

・保健所体制

感染者の増加、受診・相談センターへの問い合わせの増加受け、保健所体制を強化する。市民のみなさんからの問い合わせや、感染者へ連絡、自宅療養者の方へ対応していくため、応援フェーズを最大のVIとし、段階的に応援職員を集め、人員、電話回線などを増やしていく。

・高齢者施設等の感染拡大防止対策

重症化リスクの高い方への対応として、現在実施している、高齢者施設での定期的な検査を延長する。これまでは、7月31日まで高齢者施設従業員に1～2週間に一度、定期的な検査をお願いしていたが、検査キットを追加配布する。また、定期的な検査だけでなく、従業員に軽微な症状が発生した場合や、入所者が外部と接触した場合など、柔軟に検査を行ってもらえるよう、運用を見直し、キットの追加配布を考えている。

・ワクチンについて

今後、夏休みやお盆の帰省などで接触機会の増加が予想される。今以上の感染拡大に備えて、更なるワクチンの接種を進める必要がある。12歳以上で1回目から3回目のワクチン未接種者は、併せて約21万人いる。その方々に、接種を促す接種勧奨はがきを、8月第1週を目途に一齐に送付することにした。

3回目接種の現状は、20代から30代の進捗率が40%台にとどまっている状況で、全年代の接種率も全国平均より低くなっている。

コロナに感染した場合、若い方でも重症化することがあり、後遺症が長引くこともあるので、ぜひ接種をお願いしたい。

また、国の専門家会議においても、小児への感染予防の観点から、保護者や周囲の大人が接種することも重要とされている。

4回目接種の現状であるが、60歳以上の方の進捗率は8.8%となっており、3回目接種時とほぼ同程度で進んでいるが、感染が拡大していることから、60歳以上の方、基礎疾患をお持ちの方は、接種券が届き次第速やかな接種をお願いする。

現時点では個別医療機関も集団接種会場にも十分な予約枠が残っている。また、岡山県医師会館ではファイザー社ワクチンを使用して、夜間接種も実施している。

改めて、1～4回目の接種が可能な方は、ご自身とまわりの方の健康を守るためにも、積極的にワクチン接種をご検討いただくようお願いする。

なお、先日の岸田総理の記者会見にて、医療従事者及び高齢者施設従事者の方の4回目接種対象者拡大が示されている。岡山市では、18歳以上のすべての方に、3回目接種の修了から5か月経過後に接種券を送付しているので、国から具体が示され次第、関係団体、医療機関及び高齢者施設等へお知らせし、速やかな接種を開始できるように進めたい。

・市民のみなさんへ

これまでの対策を引き続き徹底していただくようお願いする。

特に、3回目、4回目のワクチン接種をお願いするとともに、これまで1・2回目接種ができていない方も改めて接種の検討をお願いする。

高齢者や基礎疾患のある方及びこれらの方と日常的に接する方は、感染リスクの高い場所・場面を避けるようお願いする。

家庭内においても、室内を定期的に換気するとともに、こまめに手洗いをお願いする。

帰省時には、高齢者や基礎疾患のある方と会う際は、事前に陰性であることを確認していただきたい。

併せて、対策を実施しても感染することも考えられるので、軽微な症状でも、検査を念頭に医療機関で積極的に受診していただきたい。

[市長]

基本的感染対策を行っていただく以外に、現状を少しでも良くするためにはワクチンしかないのではないか。だから、個別に接種勧奨はがきを送るのは非常に有意義だと思うが、もっと打っていただくようなその他の方策を保健福祉局で考えてもらいたい。

岡山市の接種率は全国でもそれほど良くないので、検討をお願いしたい。

[感染症対策担当局長]

鑑賞はがきは速やかに実施しようと思うが、できるだけ多くの方に接種を促すようなものを部内でも検討しているので、それを進めていきたい。

5 本部長まとめ

感染者は急激に増加し、特に40代以下の若い世代の感染が顕著である。毎週末に感染者が激増し、高い水準のまま次の週末に激増するということを繰り返しており、減少とはならない。もう少しの増加状況は続くのではないか。

感染者の増加にあわせ、保健所体制を強化する。全庁から職員を派遣し、対応にあたることとした。

重症化リスクの高い方への対策として、追加で高齢者施設に抗原検査キットを配布する。これまでの定期的な検査だけでなく、軽い症状が出た場合などでも柔軟に利用いただき、感染者の早期発見・感染拡大防止につなげていきたい。

ワクチン接種についてであるが、感染を抑えるためには、やはり、ワクチン接種が切り札となる。3回目接種の現状は、20代から30代の進捗率が半分に満たない状況である。

3回目までのワクチン未接種の方が、接種していただければ、今後の感染拡大防止に大きな効果があると考えている。また、3回のワクチン接種を済ませた人とそれ以外を比較した場合、20代では発症リスクが1/3に、30代では1/2に低下するとのことである。

岡山市は、1回目から3回目までのワクチン未接種の方約21万人に対し、8月の第1週に接種勧奨はがきを発送する。3回目までのワクチンはファイザー・モデルナに加えノババックスも選択可能で、予約枠にも余裕があり予約なし接種も可能である。

若い方でも重症化したり、症状が長引いたりする可能性がある。接種勧奨はがきを受け取った方は、自分とまわりの大切な方たちの健康を守るためにも、ぜひワクチン接種をお願いしたい。

また、4回目接種についても、感染が拡大していることから、60歳以上の高齢者や基礎疾患のある方は、接種券が届き次第、速やかな接種をお願いしたい。

市民の皆様には、従来どおりの感染対策を続けていただくとともに、少しでも症状があれば、早めに医療機関を受診していただきたい。